

# 衝突の瞬間!

## 人は無力な物体と化す

衝突——それは、これまでの走行速度が急激にゼロになるということ。つまり車が一瞬で止まるため、車内に固定されていらない物体はすべて慣性の法則により、そのままの速度で吐き出されるように飛び出していくこととなります。

「瞬間、両手両足でふんばれば……」そう考えている方も多いと思いますが、衝突の瞬間は人の力ではどうすることもできない次の物理的な世界が展開するので。

衝突の瞬間!それはまばたきより早い

車が壁にぶつかった瞬間から0・02秒後には人間の体はシートから離れ、前方へ飛び出しはじめます。たったの0・02秒。まばたきでさえ0・2秒。この間、あなたの意志が働く時間の余裕などまったくありません。

衝撃力!あなたの体重の30倍

仮に40km程度で走っていても、衝突時には体重の30倍の衝撃力が襲いかかります。60kgの体重の人で約1・8t!人間が両手両足を使ってふんばれる力の限界は体重の2~3倍。これを衝突速度に直すとたった時速7km。ましてや時速40kmでは、とてもふんばりきれぬものではありません。

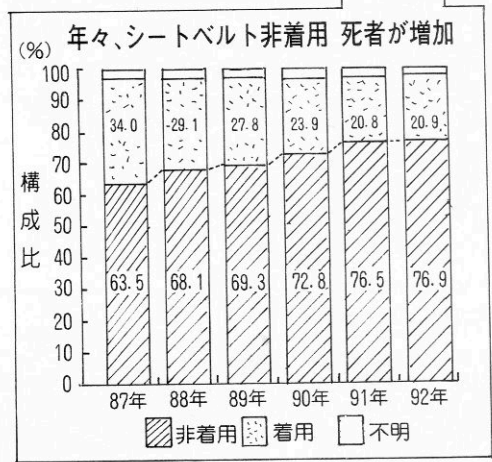
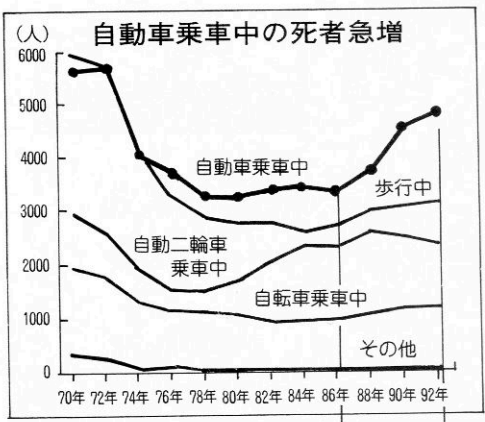


シートベルトを着けていない運転席ダミーは衝突と同時に前へ飛び出し、ハンドルに胸を強打したのち、伸び上がるようにしてフロントガラスに頭部を激突した。

### 1 前席の危険

強烈な衝撃力に翻弄された人間は無力な物体にすぎません。最も乗る機会が多い前席。グラフのように、死につながるやすい頭部・顔面部への受傷率を見ると、着用の有無により明らかに差があることがわかります。また助手席乗員は、ドライバーのように常に周囲の状況に目を配ることが少なく、いざという時、足でしかふんばることができないためか、特に危険であることがわかります。

## 助手席が最もキケン



### 非着用の場合、頭部・顔面部の受傷が増加する

